

CCE 12.0:古いESの必須パッチと再スピンに関する情報

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[新規および技術更新インストール用の必須12.0パッチ](#)

[再スピンパッチに関する情報](#)

概要

このドキュメントでは、UCCE\PCCE 12.0(1)アプリケーションの新しい再スピンESおよび必須パッチについて説明します。

著者 : Cisco TAC エンジニア、Anuj Bhatia

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco Unified Contact Center Enterprise (UCCE)

使用するコンポーネント

このドキュメントで使用されている情報は、CCEソリューション12.0(1)バージョンに基づいています。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。ネットワークが稼働中の場合は、各手順が及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

背景説明

CCE 12.0ソフトウェアはWindows 2016プラットフォームと互換性があります。古いES(Windows 2016で12.0より前に発行されたサポート)がWebSetupに関連する新しいプラットフォームの問題にインストールされたときに切り取られたことがわかりました。

フィックスは古いESを頼りにするだけでなく、必須のパッチを提供することにもなった。次の

セクションでは、これらの点を明確にします

新規および技術更新インストール用の必須12.0パッチ

CCE 12.0(1)の新規インストールを行っている場合、またはテクノロジーリフレッシュオプションを使用して12.0に進むお客様は、アプリケーションにESをインストールする前に、この必須パッチをインストールする必要があります。

ダウンロードパス→

[https://software.cisco.com/download/home/268439622/type/280840583/release/12.0\(1\)](https://software.cisco.com/download/home/268439622/type/280840583/release/12.0(1))

Readme → Readmeファイルは、必須パッチのZIPファイルに含まれています。

明確にするために、次の4つのシナリオについて説明しました。どのシナリオが必須パッチであるかを示します

シナリオ 1：新しいインストールまたはテクノロジーの更新

- Windows OS 2016のインストール (Rogger \ AW-HDS-DDSの場合はSQL 2017)
- CCE 12.0メディアのインストール (新しいISOとして表示)
- 必須パッチをインストールする必要があります
- 必要に応じて新しく応答するESパッチは、必須パッチの後にインストールする必要があります

シナリオ 2：CCE 11.XからCCE 12.0へのインラインアップグレード

- Windows OSを2012から2016にアップグレード (Rogger \ AW-HDS-DDSの場合はSQL 2017をアップグレード)
- 新しい12.0メディアで12.0 CCEアプリケーションにアップグレード
- 必要に応じて、新たにESをインストールします。

注： 必須パッチは、このシナリオには適用できないが、必要ありません

シナリオ 3：Windows 2012プラットフォーム上のCCE 12.0のWindows 2016へのアップグレード

- Windows OSを2012から2016にアップグレード (Rogger \ AW-HDS-DDSの場合はSQL 2017をアップグレード)
- ES_18をインストールして、古い12.0を新しいOS 2016プラットフォームと互換性を持たせる
- 必要に応じて、新たにESを再スピンする

注 1： 必須パッチは、このシナリオには適用されない、または必要ではありません

注 2： 古いシステム(windows 2012 - CCE 12.0)で、アップグレード前またはアップグレード後にESをアンインストールし、再スピンES(Respin ES)をインストールすることを推奨する古いESがある場合は、「Information on Re-Spin patches」のセクションの表を参照してください

シナリオ 4：Windows 2012 12.0の既存のお客様 (2020年7月31日まで延長サポート)

- サーバに古いESをインストールできます
- CCO上のRe-Spin ESは古いプラットフォームで動作する可能性があります (推奨は、ラボ環境で最初に徹底的にテストすることです)。

内部注記：新しいESは、Windows 2016プラットフォームでのみテストされます。お客様がWindows 2012 BUの新しいパッチを入手したい場合は、それらのパッチを例外として見て、2016への移行を顧客と話し合ってください。

再スピンパッチに関する情報

表に、新しいESの詳細と、それに置き換わる古いESパッチを示します

CCE 12.0旧ES	新しいES (古いESに代わる)	新しいESパッチダウンロード
ES 6	ES 26は古いES 6に代わる	https://software.cisco.com/download/specialrelease/71ebe8470e5b3b41124e00c5ae41
ES 7	ES 28は古いES 7に代わる	https://software.cisco.com/download/specialrelease/e867389240ef360e03cb4200cf3f
ES 11	ES 27は古いES 11に代わる	https://software.cisco.com/download/specialrelease/69fc92409e43aeba29c1038115b1
ES 12	ES 30は古いES 12に代わる	https://software.cisco.com/download/specialrelease/d82c4df6edf6c1de250ce8028166
ES 13	ES 29は古いES 13に代わる	https://software.cisco.com/download/specialrelease/8ae1a328659e879a2e0e27803b9f
ES 15	ES 26は古いES 15に代わる	https://software.cisco.com/download/specialrelease/71ebe8470e5b3b41124e00c5ae41
ES 20		

この情報は、PCCE 12.0アプリケーションにも適用されます。 バグ修正とともにPCCE ES_26パッチでは、

- Avaya ACDによるPCCE 4KおよびPCCE 12K導入のサポート
- PCCE 4KおよびPCCE 12Kの導入に対するICM-to-ICMゲートウェイのサポート
- サードパーティ統合
- PCCE 2K、PCCE 4K、およびPCCE 12K導入のCVP統計情報
- 発信のコールプログレス分析(CPA)パラメータ